

学修概要

将来、歯科衛生士として国民の健康に関わるにあたり、必要な歯科保健・医療における倫理について主として学ぶ。

- 教科書：1 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版 (医歯薬出版)
- 参考書：1 スタンダード社会歯科学 第7版(学建書院)
- 授業時間：木曜日 9:00 ~ 9:50
- オフィスアワー：尾崎 哲則 月曜日 17:00~18:00 (ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp)
- 授業の方法：講義形式で行うが、多くの授業でワークや演習も行なう。
- 準備学習・準備学習時間：前回の授業の内容を確認しておくことが重要である。
- 成績評価：定期試験(70%)、提出物(30%)を総合的に評価する。
- 注意事項：医療と倫理に関する新聞記事などに、関心を持っておくこと。
- 実務経験：尾崎哲則：社会系医学・歯学の複数学会・研究所で、研究倫理委員会の開設・運営に関わった経験から、実際の事例を入れ込みながら授業をしていきます。

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修目的・到達目標 |
|-------------------|---|--|
| 第1回4月18日 尾崎 哲則 | 1. 医療とは何か (教1) pp.2-3 | ・ 医療とは何であり、医学とはどこが違うのかなど、医療の位置づけを、社会をキーワードに説明できる。 |
| 第2回4月25日 尾崎 哲則 | 2. 医療の目的 (教1) pp.5-6 | ・ 医療とは、誰のために、どのような目的をもって行われることなのか、について説明できる。 |
| 第3回5月9日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 1) 道徳・倫理・習慣 (教1) pp.8-9 | ・ 現代日本社会の道徳・倫理・習慣そして法律との差異について挙げるができる。 |
| 第4回5月16日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 2) 生命倫理の歴史的な流れ (教1) pp.5, 15-16 | ・ 生命倫理 (Bioethics: バイオエシックス) の成り立ちや背景について概説できる。 |
| 第5回5月23日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 3) 生命倫理の代表的な課題 (教1) pp.16-26 | ・ 生命の始まりに関わる倫理問題を説明できる。 ・ 生命の終わりに関わる倫理問題を説明できる。 |

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修目的・到達目標 |
|---------------------|--|---|
| 第6回 5月30日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 3) 生命倫理の原則 (教1) pp. 5, 30-31 | ・ 生命倫理の基本原則と臨床倫理との関連について概説できる。 |
| 第7回 6月6日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 4) 医の倫理に関する国際的規定 (教1) pp. 10-12 | ・ 医の倫理に関する国際規範の代表的な「ヒポクラテスの誓い・ジュネーブ宣言」の概略を説明できる。 |
| 第8回 6月13日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 4) 医の倫理に関する国際的規定 (教1) pp. 12-14 | ・ 医の倫理に関する国際規範の代表的な「ヘルシンキ宣言・リスボン宣言」の概略を説明できる。 |
| 第9回 6月20日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 5) コ・メディカルスタッフの位置づけ (教1) pp. 11-12 | ・ 医の倫理についての宣言の多くが医師・歯科医師に向けたものであるが、チーム医療が実践される現代での、コ・メディカルスタッフのもつべき医の倫理について挙げるができる。 |
| 第10回 6月27日 尾崎 哲則 | 3. 医の倫理 5) コ・メディカルスタッフの位置づけ (教1) pp. 76-77 | ・ ナイチンゲール宣詞について概説できる。 ・ 歯科衛生士憲章を説明できる。 |
| 第11回 7月4日 尾崎 哲則 | 4. 患者の権利 1) 現在までの背景 (教1) pp. 10-12 | ・ 欧米諸国での患者の権利が、医療にもたらした影響について概説できる。 |
| 第12回 7月11日 尾崎 哲則 | 4. 患者の権利 2) 海外での現状 (教1) pp. 12, 32-33 | ・ アメリカ合衆国での病院協会が提唱した患者の権利章典について説明できる。 |
| 第13回 7月18日 尾崎 哲則 | 4. 患者の権利 3) 患者の権利・自己決定権 (教1) pp. 4 | ・ 患者の権利と患者の自己決定権について説明できる。 |
| 第14回 7月25日 尾崎 哲則 | 4. 患者の権利 3) 患者の権利・自己決定権 (教1) pp. 5-7 | ・ わが国における「患者の権利」の捉え方を述べるができる。 |
| 第15回 8月29日 尾崎 哲則 | 4. 患者の権利 4) 患者の自己決定権と医療のあり方 (教1) pp. 32-33 | ・ 患者の自己決定権と医療行為の選択の関連について説明できる。 |

